

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		
		課長名	谷井	内線	2520		
関連部課名	総務企画部総務企画課						
行政評価	分野	文化創造都市					
事業体系	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
目的	全国各地域の自治体と幅広い交流を進め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、相互の都市の活性化を図る。 海外都市との国際的な交流を深め、多文化が共生する魅力あるまちを目指す。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	地域への愛着	2.86	2.85	2.92	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
	文化的寛容性	2.57	2.60	2.64	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	国内交流都市ツアー参加者数（人）			98	120	150	H28年度より、国内交流都市ツアー開催。
	国内交流都市との連携事業数（事業）	25	25	25	26	30	
	通訳ボランティア登録数（人）			110	150	300	
	海外都市交流事業参加者数（人）	214	299	301	305	320	バスハイク・華道・茶道・着付・料理教室、ウィーン派遣高校生等

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	行政費用	給与関係費		61,662		行政収入	地方税等		0
		物件費		28,620			国庫支出金		8,418
		維持補修費		0			都支出金		0
		扶助費		0			分担金及び負担金		0
		補助費等		12,764			使用料及び手数料		0
		減価償却費		0			その他		0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0			行政収入合計(a)		8,418
		賞与・退職給与引当金繰入額		3,367			行政収支差額(a)-(b)=(c)		97,995
		その他行政費用		0			金融収支差額(d)		0
行政費用合計(b)			106,413		通常収支差額(c)+(d)=(e)			97,995	
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		97,995			
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	流動資産	収入未済		0		流動負債		3,291	
		不納欠損引当金		0			還付未済金		0
		その他の流動資産		0			特別区債		0
	固定資産	有形固定資産		0		賞与引当金		3,291	
		土地		0		その他の流動負債		0	
		建物		0		固定負債		26,453	
		建物減価償却累計額		0			特別区債		0
		工作物等		0			退職給与引当金		26,453
		工作物等減価償却累計額		0		その他の固定負債		0	
		無形固定資産		0		負債の部合計		29,743	
	建設仮勘定		0		正味財産		29,743		
	その他の固定資産		0		正味財産の部合計		29,743		
資産の部合計		0		負債及び正味財産の部合計		0			

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区では、様々な縁や結び付きを契機として幅広い都市間交流を行っている。</p> <p>海外都市とも、高校生相互派遣や日暮里ファッションショー、スポーツ大会の開催等、文化・スポーツ・教育など様々な面で交流を行っている。</p> <p>現在もオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、韓国濟州市、中国大連市中山区の3都市と交流を行っている。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして物件費が大きな割合を占めている。28年度は、友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区及び濟州市との周年事業を実施した。</p> <p>日暮里駅前ひろば文化・交流事業、全国連携プロジェクトにおける北海道くしろ地域・東京特別区推進事業については、地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金を活用し、実施した。</p>
課題	<p>国内交流都市、特別区全国連携プロジェクトや幸せリーグ等を通じて、全国各地域の自治体との交流が増えてきた中で、双方の都市にとって有益な交流を更に実施する必要がある。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、海外からの旅行者等の増加が見込まれることから、日本人と外国人の相互理解を深めるとともに、区全体でおもてなしを実現するため、様々な分野における国際交流を拡大する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>区民が主体となった他自治体との交流を積極的に支援する。生活環境や地域文化の異なる地域との交流を深めることによって、我がまちへの愛着と誇りを醸成するとともに、豊かな自然と触れ合う場など様々な体験をする機会を提供し、豊かな区民生活の実現を図る。</p> <p>「特別区全国連携プロジェクト」のつながりを活用し、区内でのイベント開催や地域住民相互の交流等を通じて、全国各地域と区内の産業振興や観光振興、地域の活性化等を推進する。</p> <p>「幸せリーグ」における自治体職員同士の交流を促進し、共通する行政課題についての情報交換や先進事例を取り入れ、新たな施策の立案につなげ、区民サービスの一層の向上を図る。</p> <p>友好都市や幸せリーグ加入自治体等と災害時相互応援協定を締結し、物資の提供にとどまらず、人の応援、被災者の受入など、様々な助け合いの関係を構築する。</p> <p>区内のスポーツ団体、文化団体等が、イベント等を契機に他の自治体を訪問・交流することを通じて、それぞれの分野での技能や質の向上、団体や団体活動等の活性化を図る。</p> <p>海外都市との交流を促進することによって、海外都市に対する区民の関心を高め、相互理解を深めるとともに、外国人との多文化共生意識を育み、世界に開かれた街としての荒川区の魅力や活力を、より一層高める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の各交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や区内における交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のため の分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-10		7,179	推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、優先度は高い。
国内都市交流事業	05-01-03	1,612	7,695	重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高める。
国際交流協会補助	05-01-04	4,532	4,925	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として区が重点的に支援することが必要である。
海外都市交流事業	05-01-05	13,292	33,162	重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。
合 計		19,436	52,961			